

#3
4-20-01

Docket No. 1095.1151/JDH

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:)
Tetsuo MINAKAWA, et al.)
Serial No.: To be assigned) Group Art Unit: Unassigned
Filed: January 18, 2001) Examiner: Unassigned
For: INTERMEDIATION CONTROL)
APPARATUS AND COMPUTER-)
READABLE STORAGE MEDIUM)
STORING INTERMEDIATION)
CONTROL PROGRAM)

JC987 U.S. PRO
09/764160
01/19/01


**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN
APPLICATION IN ACCORDANCE
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. §1.55**

*Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231*

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. §1.55, the applicant submits herewith a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 2000-179293
Filed: June 15, 2000.

It is respectfully requested that the applicant be given the benefit of the foreign filing date as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements of 35 U.S.C. §119.

Respectfully submitted,
STAAS & HALSEY LLP

By:

James D. Halsey, Jr.
Registration No. 22,729

Date: January 18, 2001

700 11th Street, N.W., Ste. 500
Washington, D.C. 20001
(202) 434-1500

日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出願年月日
Date of Application:

2000年 6月15日

出願番号
Application Number:

特願2000-179293

出願人
Applicant(s):

富士通株式会社

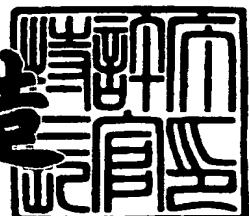
JC987 U.S. PRO
09/764160
01/19/01



2000年10月27日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2000-3089793

【書類名】 特許願
 【整理番号】 0050938
 【提出日】 平成12年 6月15日
 【あて先】 特許庁長官殿
 【国際特許分類】 H04L 29/02
 【発明の名称】 仲介制御装置及び仲介制御プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体
 【請求項の数】 10
 【発明者】
 【住所又は居所】 青森県青森市大字野木字山口245番9（番地なし）
 株式会社富士通青森システムエンジニアリング内
 【氏名】 皆川 哲央
 【発明者】
 【住所又は居所】 青森県青森市大字野木字山口245番9（番地なし）
 株式会社富士通青森システムエンジニアリング内
 【氏名】 竹内 均
 【発明者】
 【住所又は居所】 青森県青森市大字野木字山口245番9（番地なし）
 株式会社富士通青森システムエンジニアリング内
 【氏名】 八田 信
 【特許出願人】
 【識別番号】 000005223
 【氏名又は名称】 富士通株式会社
 【代理人】
 【識別番号】 100092152
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 服部 肖巖
 【電話番号】 0426-45-6644

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 009874

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9705176

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 仲介制御装置及び仲介制御プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ネットワークを介して、ユーザとサービス提供者の間の仲介を行う仲介制御装置において、

前記ユーザから送信された依頼情報の種類にもとづいて、前記ユーザの個人情報の開示する範囲を決定し、抽出する抽出手段と、

抽出した前記個人情報を依頼内容と共に、前記サービス提供者に利用可能とする処理手段と、

を有することを特徴とする仲介制御装置。

【請求項2】 前記個人情報をユーザIDと共に記憶する記憶手段をさらに有することを特徴とする請求項1記載の仲介制御装置。

【請求項3】 前記抽出手段は、ユーザIDを含む前記依頼情報に対し、前記ユーザIDと前記依頼情報の種類にもとづいて、前記記憶手段内の前記個人情報の開示情報を決定して、抽出することを特徴とする請求項2記載の仲介制御装置。

【請求項4】 前記処理手段は、前記サービス提供者が認証を行ってアクセス可能なサイト上で利用可能にすることを特徴とする請求項1記載の仲介制御装置。

【請求項5】 前記依頼内容と前記個人情報の開示情報との対応を管理する管理テーブルをさらに有することを特徴とする請求項1記載の仲介制御装置。

【請求項6】 前記抽出手段は、前記管理テーブルにもとづいて、前記開示情報を決定することを特徴とする請求項5記載の仲介制御装置。

【請求項7】 前記抽出手段は、ユーザから送信された前記依頼情報として、保険の見積もり依頼及び保険の種類にもとづいて、前記ユーザの個人情報の開示する範囲を決定し、抽出することを特徴とする請求項1記載の仲介制御装置。

【請求項8】 ネットワークと接続するサービス提供装置において、

ユーザから送信された依頼情報の中の開示できる部分である開示情報を受信す

る開示情報受信手段と、

前記開示情報にもとづいて作成した商品情報を、応答情報として送信する応答情報送信手段と、

を有することを特徴とするサービス提供装置。

【請求項9】 前記開示情報受信手段は、ユーザから送信された前記依頼情報として、保険の見積もり依頼の中の開示できる部分である開示情報を受信することを特徴とする請求項8記載のサービス提供装置。

【請求項10】 コンピュータに仲介制御を実行させる仲介制御プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体において、

ユーザから送信された依頼情報の種類にもとづいて、前記ユーザの個人情報の開示する範囲を決定し、抽出する抽出手段、

抽出した前記個人情報を依頼内容と共に、前記サービス提供者に利用可能とする処理手段、

としてコンピュータを機能させることを特徴とする仲介制御プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は仲介制御装置及び仲介制御プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体に関し、特にネットワークを介して、ユーザとサービス提供者の間の仲介を行う仲介制御装置及びコンピュータに仲介制御を実行させる仲介制御プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】

近年、インターネットの普及に伴って、オンライン仲介ビジネスが発展している。オンライン仲介ビジネスは、通常、仲介業者がオンライン上で企業の商品情報を公開し、ユーザが希望する商品を調べて購入するといった形態をとるネットワーク・ビジネスである。

【0003】

オンライン仲介ビジネスとしては、例えば、オンライン保険販売仲介ビジネスがある。これは、自動車保険、生命保険、火災保険等を購入しようと考える消費者に、希望条件に応じ、最適な保険会社を数社選んで、保険料の見積もりをオンライン上に提出する。

【0004】

そして、消費者は、オンラインで質問に答えることによって、どういった保険がどのくらい必要かという自分の保険ニーズをインタラクティブに調べながら、希望の商品を購入する。

【0005】

このように、オンライン保険販売仲介ビジネスは、ネットワーク上で、消費者を手軽に購入プロセスに参加させることができ、また、商品供給側に、販売プロセスの効率化、マーケティングコストや流通コストの削減等の利点をもたらす。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】

上記のような従来のオンライン保険販売仲介ビジネスは、ユーザの個人情報が重要な位置を占めることになるが、従来では個人情報が隠匿されていなかったため、第三者に利用されたりするといった問題があった。インターネットのようなオープンなネットワーク環境では、商取引を実現するために、個人情報のセキュリティ技術が重要となる。

【0007】

本発明はこのような点に鑑みてなされたものであり、情報の保護を行って信頼性を確保して、仲介制御を行う仲介制御装置を提供することを目的とする。

また、本発明の他の目的は、情報の保護を行って信頼性を確保して、仲介制御を行う仲介制御プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体を提供することである。

【0008】

【課題を解決するための手段】

本発明では上記課題を解決するために、図1に示すような、ネットワークN1、N2を介して、ユーザ（第1の通信装置10に対応）とサービス提供者（第2

の通信装置20に対応)の間の仲介を行う仲介制御装置30において、ユーザから送信された依頼情報の種類にもとづいて、ユーザの個人情報の開示する範囲を決定し、抽出する抽出手段(開示情報抽出手段33に対応)と、抽出した個人情報を依頼内容と共に、サービス提供者に利用可能とする処理手段(開示情報送信手段34に対応)と、を有することを特徴とする仲介制御装置30が提供される。

【0009】

ここで、抽出手段は、ユーザから送信された依頼情報の種類にもとづいて、ユーザの個人情報の開示する範囲を決定し、抽出する。処理手段は、抽出した個人情報を依頼内容と共に、サービス提供者に利用可能とする。

【0010】

また、コンピュータに仲介制御を実行させる仲介制御プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体において、ユーザから送信された依頼情報の種類にもとづいて、ユーザの個人情報の開示する範囲を決定し、抽出する抽出手段、抽出した個人情報を依頼内容と共に、サービス提供者に利用可能とする処理手段、としてコンピュータを機能させることを特徴とする仲介制御プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体が提供される。

【0011】

ここで、抽出手段は、ユーザから送信された依頼情報の種類にもとづいて、ユーザの個人情報の開示する範囲を決定し、抽出する。処理手段は、抽出した個人情報を依頼内容と共に、サービス提供者に利用可能とする。

【0012】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態を図面を参照して説明する。図1は情報通信システムの原理図である。情報通信システム1は、本発明の仲介制御装置30とサービス提供装置(第2の通信装置20に対応)を含む。

【0013】

仲介制御装置30に対し、抽出手段(開示情報抽出手段33に対応)は、ユーザから送信された依頼情報(例えば、保険の見積もり依頼の情報)の種類(火災

保険、地震保険などといった保険の種類）にもとづいて、ユーザの個人情報の開示する範囲を決定し、個人情報を抽出する。

【0014】

処理手段（開示情報送信手段34に対応）は、抽出した個人情報を依頼内容と共に、サービス提供者（第2の通信装置20に対応）に利用可能とする。記憶手段31は、個人情報をユーザIDと共に記憶する。

【0015】

ここで、抽出手段は、ユーザIDを含む依頼情報に対し、ユーザIDと依頼情報の種類とともにとづいて、記憶手段31内の個人情報の開示情報を決定して、抽出する。

【0016】

また、処理手段34は、サービス提供者が認証を行ってアクセス可能なサイト上で利用可能にする。具体例としては、サービス提供者宛の電子メールや、認証によりアクセス可能となるサイト（例えば、仲介制御装置30が管理するウェブサイト上。ただし、サービス提供者がアクセスするにはID、パスワード等の認証が必要）等がある。

【0017】

さらに、抽出手段は、依頼内容と個人情報の開示情報との対応を管理する管理テーブルをさらに有し、管理テーブルにもとづいて、開示情報を決定する。

なお、以降では抽出手段を開示情報抽出手段33、処理手段を開示情報送信手段34と呼ぶ。

【0018】

次に本発明の仲介制御装置30を用いたシステムである情報通信システム1について詳しく説明する。情報通信システム1は、第1の通信装置10と、第2の通信装置20と、仲介制御装置30とから構成される。第1の通信装置10と仲介制御装置30は、ネットワークN1を介して接続し、仲介制御装置30と第2の通信装置20は、ネットワークN2を介して接続する。なお、第1の通信装置10と第2の通信装置20は、実際には複数存在する。

【0019】

第1の通信装置10に対し、情報送信手段11は、情報を仲介制御装置30へ送信する。応答情報受信手段12は、送信した情報に対する応答情報を受信する。

【0020】

仲介制御装置30に対し、記憶手段31は、第1の通信装置10からの情報及び第2の通信装置20からの応答情報を受信して格納する。応答情報仲介送信手段32は、第2の通信装置20から第1の通信装置10へ、応答情報の仲介送信を行う。

【0021】

開示情報抽出手段33は、第1の通信装置10から受信した情報の開示できる部分である開示情報を自動的に抽出する。なお、開示情報抽出手段33は、情報と開示情報とをあらかじめテーブル化しておく。これにより、効率よく情報の中から開示情報を抽出できる。開示情報送信手段34は、抽出した開示情報を第2の通信装置20へ送信する。

【0022】

第2の通信装置20に対し、開示情報受信手段21は、仲介制御装置30から送信された開示情報を受信する。応答情報送信手段22は、開示情報にもとづいて作成した応答情報を仲介制御装置30へ送信する。

【0023】

なお、上記の説明では、ユーザが入力した依頼情報の中から開示情報を抽出するとしたが、仲介制御装置30の中にあらかじめ個人情報が登録してあり（例えば、会員登録）、依頼情報に含まれるユーザIDと依頼情報の種類から、ユーザの開示する個人情報を決定することもできる。

【0024】

次に情報通信システム1をオンライン仲介ビジネスに適用した商品販売システムについて詳しく説明する。図2は商品販売システムの構成を示す図である。

商品販売システム1aは、ユーザ端末装置10a-1～10a-n（顧客側）と、サービス提供装置20a-1～20a-n（商品を販売する企業側）と、仲介制御装置30a（仲介業者側）とから構成される。ユーザ端末装置10a-1

～10a-nと仲介制御装置30aは、ネットワークN1を介して接続し、仲介制御装置30aとサービス提供装置20a-1～20a-nは、ネットワークN2を介して接続する。

【0025】

なお、ユーザ端末装置10a（総称する場合はユーザ端末装置10aとする）、サービス提供装置20a（総称する場合はサービス提供装置20aとする）、仲介制御装置30aは、図1で示した第1の通信装置10、第2の通信装置20、仲介制御装置30に対応する。

【0026】

ユーザ端末装置10aに対し、情報送信手段11aは、ユーザが購入したいと考える商品の依頼情報を送信する。応答情報受信手段12aは、送信した依頼情報に対する商品情報を、サービス提供装置20aから応答情報として受信する。

【0027】

従来では企業側から商品情報を公開し、ユーザが希望する商品を調べて購入するといったものだが、本発明の商品販売システム1aは、ユーザが購入したいと考える商品を逆に提案して、仲介業者がこの提案を複数の企業に公開し、その後、企業側がユーザにアクセスするといった形態をとるシステムである。

【0028】

なお、ユーザ端末装置10aのOS(Operating System)は、依頼情報の作成、表示及び応答情報の表示等の操作を行う際に必要なユーザ・インターフェース画面をユーザに提供する。

【0029】

仲介制御装置30aに対し、記憶手段31aは、ユーザ端末装置10aからの依頼情報及びサービス提供装置20aからの応答情報を受信して格納する。応答情報仲介送信手段32aは、サービス提供装置20aからユーザ端末装置10aへ、応答情報の仲介送信を行う。

【0030】

開示情報抽出手段33aは、ユーザ端末装置10aから受信した依頼情報の開示できる部分である開示情報を自動的に抽出する。ここで、ユーザが送信した依

頼情報の中には、個人データが含まれることがある。したがって、この個人データの中の公開してもよい部分だけを開示情報として抽出する。

【0031】

なお、開示情報抽出手段33aは、依頼情報（個人データ）と開示情報とをあらかじめテーブル化しておく。これにより、効率よく依頼情報の中から開示情報を抽出できる。開示情報送信手段34aは、抽出した開示情報をサービス提供装置20aへ送信する。送信方法は、Webサイトでパスワード認証付きで公開してもよい。

【0032】

サービス提供装置20aに対し、開示情報受信手段21aは、仲介制御装置30aから送信された開示情報を受信する。応答情報送信手段22aは、開示情報にもとづいて作成した応答情報を仲介制御装置30aへ送信する。すなわち、サービス提供者は、開示情報にもとづいて、商品案内のパンフレットや見積もり書等の商品情報を作成し、応答情報として返信する。

【0033】

なお、サービス提供装置20aのOSは、開示情報の表示及び応答情報の作成、表示等の操作を行う際に必要なユーザ・インターフェース画面をサービス提供者に提供する。

【0034】

以上説明したように、本発明の商品販売システム1aは、ユーザが提案した依頼情報に対し、開示できる部分のみを仲介制御装置30aが自動的に抽出し、抽出した開示情報をサービス提供装置20aへ送信する構成とした。これにより、個人データが保護された商品販売に関する通信を行うことができるので、信頼性の向上を図ることが可能になる。

【0035】

次に具体例として保険商品情報を扱った、商品販売システム1aについて説明する。図3は個人データ入力画面を示す図である。個人データ入力画面110は、ユーザ端末装置10a上の画面である。

【0036】

ユーザは、ユーザID、パスワード等の入力を行って、システム使用認証許可を得た後、購入したい保険商品の提案を行う。まず、ユーザは、個人データ入力画面110の図に示すような項目に対して、データを逐次入力する。

【0037】

保険商品の提案要素では、個人データ111が大きな位置を占めるため、必要に応じて、個人データ入力画面110を用いて、個人データ111をメンテナンスする。

【0038】

各項目に対し、ユーザID111aは、あらかじめ登録されたものが自動表示され変更不可である。氏名111bは、あらかじめ登録されたものが自動表示され変更不可である。年齢111cは、あらかじめ登録された生年月日より自動計算表示されて変更不可である。性別111dは、あらかじめ登録されたものが自動表示され変更不可である。

【0039】

また、職業111e、勤続年数111f、年収111g、家族構成111h（“妻または夫”、“子供の人数”、“子供の年齢”、“上記以外の扶養家族”）、現在加入中の保険111i、“Eメールアドレス111jの各欄には、必要な内容を入力していく。

【0040】

そして、登録ボタン112を押下することで、情報送信手段11aによって、入力された個人データ111が送信される。

図4は見積もり依頼データ入力画面を示す図である。見積もり依頼データ入力画面120は、ユーザが実際に購入したい保険商品情報の見積もり依頼データ121を作成する際のユーザ端末装置10a上の画面である。

【0041】

各項目に対し、“ユーザID”は、あらかじめ登録されたものが自動表示され変更不可である。“氏名”は、あらかじめ登録されたものが自動表示され変更不可である。また、要求する保険121aには、加入したい保険名を入力し、その他希望121bには、詳細な提案内容を入力する。

【0042】

そして、登録ボタン122を押下することで、情報送信手段11aによって、入力された見積もり依頼データ121が送信される。なお、個人データ111と見積もり依頼データ121とを合わせて依頼情報とする。

【0043】

次に開示情報抽出手段33aについて説明する。図5は開示情報抽出テーブルを示す図である。開示情報抽出テーブルT1は、依頼情報と、依頼情報の中の開示できる部分の開示情報を対応づけたテーブルであり、開示情報抽出手段33aによって管理される。

【0044】

開示情報抽出テーブルT1は、保険種類T1a、開示情報T1bの項目を持つ。図では、介護費用保険に関するユーザからの見積もり依頼に対しては、依頼情報の中で保険会社に開示できる内容としては、職業、家族構成（年齢、病状含む）となっている。

【0045】

したがって、開示情報抽出手段33aは、見積もり依頼データ121の要求する保険121aが介護費用保険となっている場合には、個人データ111の中の職業111e、家族構成111hの情報を抽出する。

【0046】

また、開示情報抽出テーブルT1の積立保険に関するユーザからの見積もり依頼に対しては、依頼情報の中で保険会社に開示できる内容としては、年齢、職業、勤続年数、年収、家族構成となっている。

【0047】

したがって、開示情報抽出手段33aは、見積もり依頼データ121の要求する保険121aが積立保険となっている場合には、個人データ111の中の年齢111c、職業111e、勤続年数111f、年収111g、家族構成111hを抽出する。

【0048】

さらに、開示情報抽出テーブルT1の生命保険に関するユーザからの見積もり

依頼に対しては、依頼情報の中で保険会社に開示できる内容としては、年齢、職業、年収、家族構成となっている。

【0049】

したがって、開示情報抽出手段33aは、見積もり依頼データ121の要求する保険121aが生命保険となっている場合には、個人データ111の中の年齢111c、職業111e、年収111g、家族構成111hを抽出する。

【0050】

このように、あらかじめ抽出すべき情報を、保険種類に対応させてテーブル化しておくことにより、開示情報を効率よく抽出できる。

なお、図に示す開示情報抽出テーブルT1では、保険種類として、介護費用保険、積立保険、生命保険としたが、その他として、火災保険、地震保険、自動車保険等、任意の保険に対して開示情報を設定できる。

【0051】

次に保険会社のサービス提供装置20aに表示される提案要求読み込み画面について説明する。図6は提案要求読み込み画面を示す図である。保険会社では、提案要求読み込み画面210を利用して、どのような保険商品に対して提案要求がなされているかを知ることができる。

【0052】

提案要求読み込み画面210には、保険種類選択211、年収212、登録日指定213、登録内容一覧214、検索ボタン215、詳細表示ボタン216が表示される。

【0053】

保険種類選択211は、サービス提供者が選択したい保険種類を入力する欄である。年収212は、サービス提供者が選択したい年収を入力する欄である。登録日指定213は、サービス提供者が選択したい登録日を入力する欄である。

【0054】

そして、保険種類選択211、年収212、登録日指定213を入力した後に、検索ボタン215を押下すると、登録内容一覧214が表示され、該当する提案要求がどれくらいあるかを知ることができる。

【0055】

例えば、サービス提供者が、保険種類選択211に“医療保障保険”、年収212に“600万～”、登録日指定213に“2000年1月以降”と入力して、検索ボタン215を押下すると、登録内容一覧214に図に示すような内容が表示される。

【0056】

また、登録内容一覧214の中のいずれかの欄の情報について、より詳しく知りたい場合には、その欄をマウス等で指定した後、詳細表示ボタン216を押下すると、該当欄に対応した開示情報が画面上に表示される（図示せず）。

【0057】

次に商品提案読み込み画面について説明する。図7は商品提案読み込み画面を示す図である。商品提案読み込み画面130は、ユーザが購入したい保険商品を提案した後に、どのような保険会社から応答がきているかを示すユーザ端末装置10a上の画面である。

【0058】

商品提案読み込み画面130には、登録一覧131、紹介一覧132、選択ボタン133、詳細表示ボタン134が表示される。

登録一覧131は、ユーザが何の保険商品の登録（提案）をしたかを示す。また、登録一覧131の中のいずれかの欄の情報について、より詳しく知りたい場合には、その欄をマウス等で指定した後、選択ボタン133を押下すると、該当欄に対応した保険会社からの応答が紹介一覧132に表示される。

【0059】

そして、紹介一覧132の中のいずれかの保険会社の情報について、より詳しく知りたい場合には、その欄をマウス等で指定した後、詳細表示ボタン134を押下すると、該当欄に対応した保険会社からのより詳細な保険商品情報が画面上に表示される（この画面については図8で後述）。

【0060】

次に保険商品案内画面について説明する。図8は保険商品案内画面を示す図である。保険会社のサービス提供者は、提案要求読み込み画面210から得た情報

及び開示情報にもとづいて、商品案内パンフレットのような保険商品情報を作成する。

【0061】

この保険商品情報は、依頼情報に対する応答情報であり、サービス提供装置20aから仲介制御装置30aを介してユーザ端末装置10aへ送信され、図7の商品提案読み込み画面130上の詳細表示ボタン134を押下した後に、保険商品案内画面140上に表示される。

【0062】

保険商品案内画面140には、紹介先141、紹介登録番号142、タイトル143、紹介内容144、添付ファイル145、紹介登録ボタン146が表示される。

【0063】

紹介先141は、商品紹介すべきユーザのID番号を示す。紹介登録番号142は、保険会社側で管理するユーザの登録番号を示す。タイトル143は、保険商品のタイトルを示す。紹介内容144は、保険商品の紹介内容を示す。添付ファイル145は、より詳細な商品紹介内容を示す。

【0064】

また、ユーザが上記の表示内容について、さらに詳しい内容を知りたい場合や質問等があれば、紹介登録ボタン146を押下する。その後に、ユーザと保険会社との間で交渉が行われる。

【0065】

なお、上記の図1、図2で示したサービスは、仲介制御装置30が提供するウェブサイト上で行われ、図3、図4、図6～図8の画面は、そのウェブサイトで提供されるフォームであって、ユーザやサービス提供者の要求により、それぞれ送信されるものである。

【0066】

次に商品販売システム1aにおける保険商品情報の販売プロセスをシーケンス図を用いて説明する。図9～図11は保険商品情報の販売プロセスを示すシーケンス図である。

【S1】ユーザは、ユーザ端末装置10aを用いて、個人データ入力画面110(図3)、見積もり依頼データ入力画面120(図4)を作成する。

【S2】情報送信手段11aは、個人データ111と見積もり依頼データ121からなる依頼情報を、仲介制御装置30aへ送信する。

【0067】

【S3】記憶手段31aは、依頼情報を受信して格納する。

【S4】開示情報抽出手段33aは、開示情報抽出テーブルT1(図5)を用いて、格納されている依頼情報の中から開示情報を抽出する。

【S5】開示情報送信手段34aは、開示情報をサービス提供装置20aへ送信し、開示情報受信手段22aは、開示情報を受信する。

【0068】

【S6】サービス提供装置20aは、開示情報にもとづいて、提案要求読み込み画面210(図6)を表示する。

【S7】応答情報送信手段21は、サービス提供者が作成した応答情報として、保険商品情報を仲介制御装置30aへ送信する。

【S8】記憶手段31aは、応答情報を受信して格納する。

【0069】

【S9】応答情報仲介送信手段32aは、応答情報をユーザ端末装置10aへ送信し、応答情報受信手段12aは、応答情報を受信する。

【S10】ユーザ端末装置10aは、商品提案読み込み画面130(図7)、保険商品案内画面140(図8)を表示する。その後、ユーザと保険会社との間で交渉が行われる。

【0070】

以上説明したように、本発明の商品販売システム1aは、仲介制御装置30aで、依頼情報の開示できる部分である開示情報を抽出してサービス提供装置20aへ送信し、開示情報にもとづいて作成された応答情報をユーザ端末装置10aへ送信する構成とした。

【0071】

これにより、個人データが保護された商品販売に関する通信を行うことができ

るので、信頼性の向上を図ることが可能になる。また、企業側では、購入者を効率よく選別、評価することによって、基準に満たない顧客に初めから時間を費やすずに、契約基準に合った顧客だけに連絡することができるので、効率よく業務を行うことが可能になる。

【0072】

また、以上説明したような仲介制御装置30の機能を実現するためのコンピュータプログラムは、半導体メモリや磁気記録媒体などの記録媒体に記述させることができる。

【0073】

これにより、市場に流通させる場合に、CD-ROMやフロッピーディスク等の可搬型記録媒体にプログラムを格納して流通させたり、ネットワークを介して接続されたコンピュータの記憶装置に格納しておき、ネットワークを通じて他のコンピュータに転送することもできる。

【0074】

そして、コンピュータで実行する際には、コンピュータ内のハードディスク装置等にプログラムを格納しておき、メインメモリにロードして実行する。

なお、上記の説明では、商品販売システム1aの適用例として、オンライン保険販売仲介ビジネスについて詳述したが、その他の様々なオンライン・ビジネスにも適用可能である。

【0075】

さらに、上記の説明では、サービス提供者→仲介制御装置30→ユーザへ応答情報が送信されるが、直接、サービス提供者→ユーザへ送信してもよい。例えば、仲介制御装置30が個人情報として電子メールアドレスも抽出して、サービス提供者に提供し、サービス提供者はその電子メールアドレスを用いることにより、直接ユーザに応答情報を送信してもよい。

【0076】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明の仲介制御装置は、依頼情報の種類にもとづいて、個人情報の開示する範囲を決定して抽出し、抽出した個人情報を依頼内容と共に

に、サービス提供者に利用可能とする構成とした。これにより、情報が保護された通信を行うことができるので、信頼性の向上を図ることが可能になる。

【0077】

また、本発明の仲介制御プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体は、依頼情報の種類にもとづいて、個人情報の開示する範囲を決定して抽出し、抽出した個人情報を依頼内容と共に、サービス提供者に利用可能とするプログラムとした。これにより、情報が保護された通信を行うことができるので、信頼性の向上を図ることが可能になる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

情報通信システムの原理図である。

【図2】

商品販売システムの構成を示す図である。

【図3】

個人データ入力画面を示す図である。

【図4】

見積もり依頼データ入力画面を示す図である。

【図5】

開示情報抽出テーブルを示す図である。

【図6】

提案要求読み込み画面を示す図である。

【図7】

商品提案読み込み画面を示す図である。

【図8】

保険商品案内画面を示す図である。

【図9】

保険商品情報の販売プロセスを示すシーケンス図である。

【図10】

保険商品情報の販売プロセスを示すシーケンス図である。

【図11】

保険商品情報の販売プロセスを示すシーケンス図である。

【符号の説明】

1 情報通信システム

10 第1の通信装置

11 情報送信手段

12 応答情報受信手段

20 第2の通信装置

21 開示情報受信手段

22 応答情報送信手段

30 仲介制御装置

31 記憶手段

32 応答情報仲介送信手段

33 開示情報抽出手段

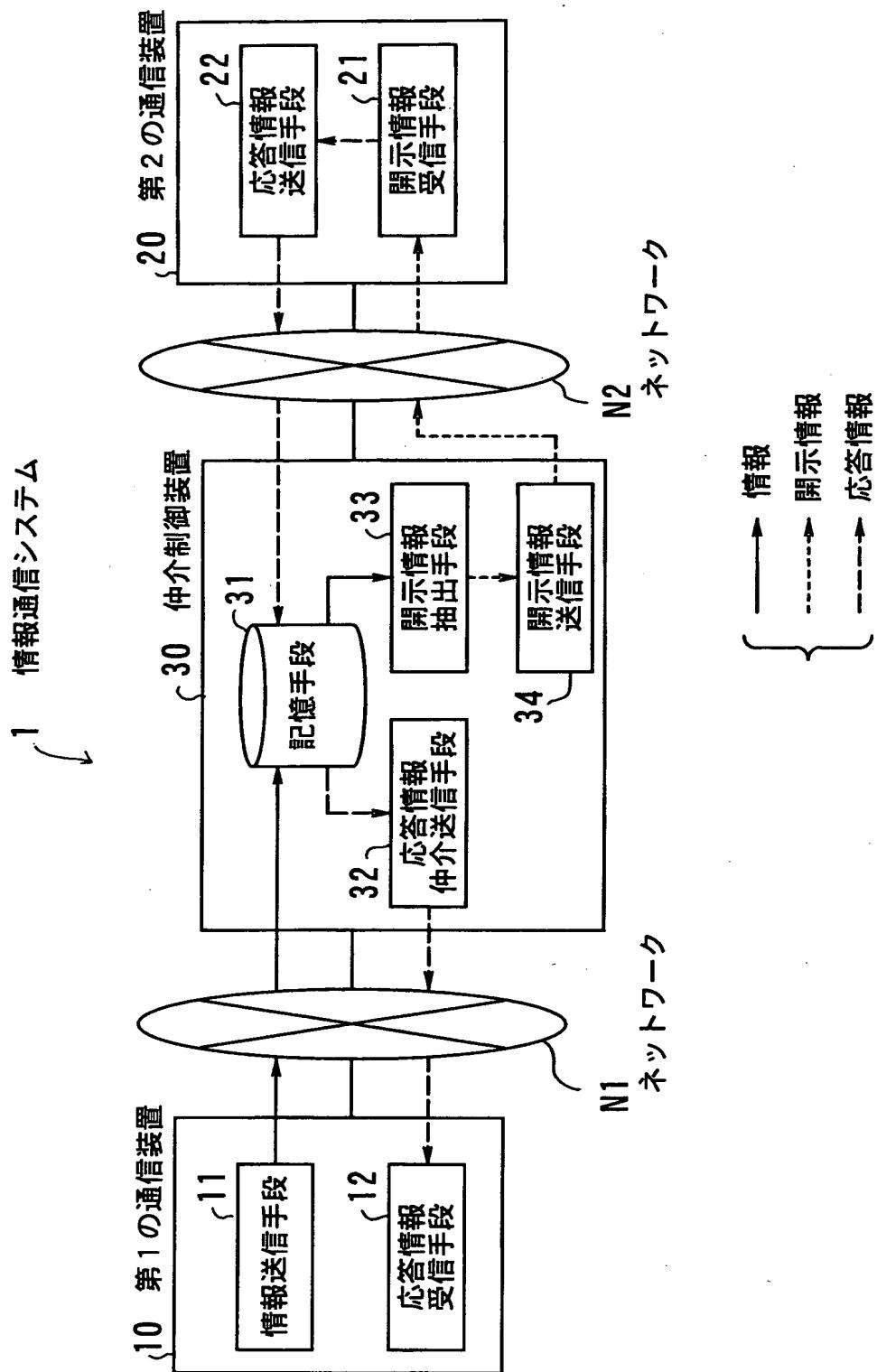
34 開示情報送信手段

N1、N2 ネットワーク

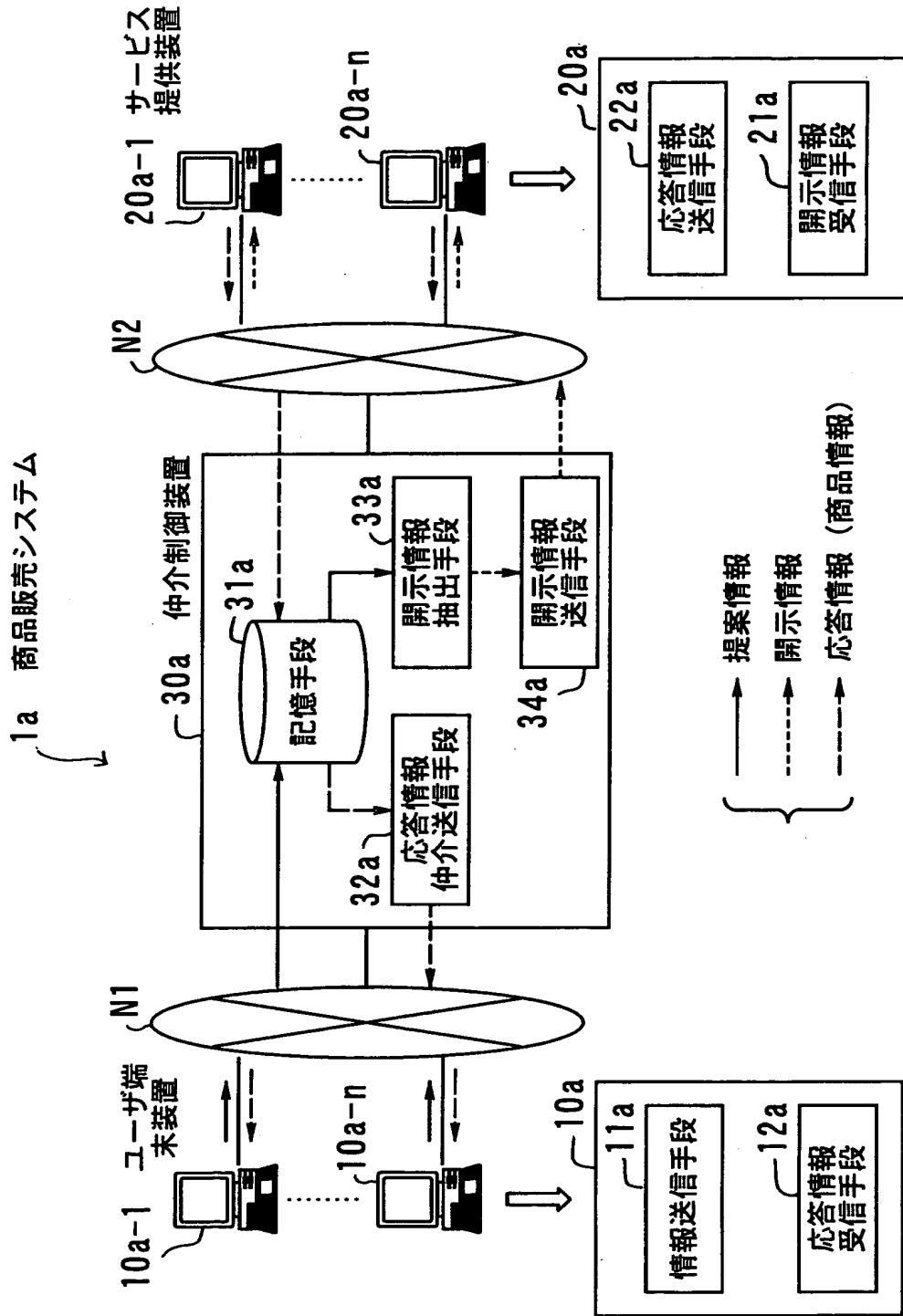
【書類名】

図面

【図1】



【図2】



【図3】

110 個人データ入力画面

111 個人データ入力		
111a ~	ユーナID	
111b ~	氏名	富士 太郎
111c ~	年齢	38歳
111d ~	性別	男
111e ~	職業	公務員
111f ~	勤続年数	20年
111g ~	年収	800万円
111h {		
	妻または夫	有り
	子供の人数	1人
	子供の年齢	14歳
	上記以外の扶養家族	1人
111i ~	現在加入中の保険	家族傷害■ 医療■ ■ ■
111j ~	Eメールアドレス	taro@hoken.mail.ne.jp
		112~
		登録

【図4】

120 見積もり依頼データ入力画面	
121 見積もり依頼データ	
ユーザID	ID0000003
氏名	富士 太郎
要求する保険	家族傷害■ 医療■ ■ ■
その他希望	入院日額4000円以上 通院日額2500円以上 貯蓄型希望
121a~	
121b~	
122 登録	

【図5】

T1 開示情報抽出テーブル

T1a		T1b	
保険種類	開示情報	職業	開示情報
介護費用保険	家族構成（年齢、病状含む）	年齢	
		職業	
積立保険	勤続年数	年収	
		家族構成	
生命保険	年齢	職業	
		年収	
		家族構成	

【図6】

210 提案要求読み込み画面

211 保険種類選択 医療保障保険 <input type="checkbox"/>	212 年収 600万~ <input type="checkbox"/>		
213 登録日指定 2000年1月以降 <input type="checkbox"/>			
214 登録内容一覧			
登録日	保険種類	年収	保険内容
2000/01/22	医療保障保険	600万	団体型家族特約付
2000/01/23	医療保障保険	800万	予約特約付
⋮	⋮	⋮	⋮

215 検索

216 詳細表示

【図7】

130 商品提案読み込み画面

131 登録一覧		
登録日	保険種類	保険内容
2000/01/23	医療保障保険	団体型家族特約付

133～選択

132 紹介一覧		
紹介日	保険会社名	タイトル
2000/01/25	新日本保険株式会社	ご案内です。
2000/01/26	松竹梅海上火災保険	ご希望商品のご案内です
2000/01/27	白鶴保険株式会社	はじめまして。

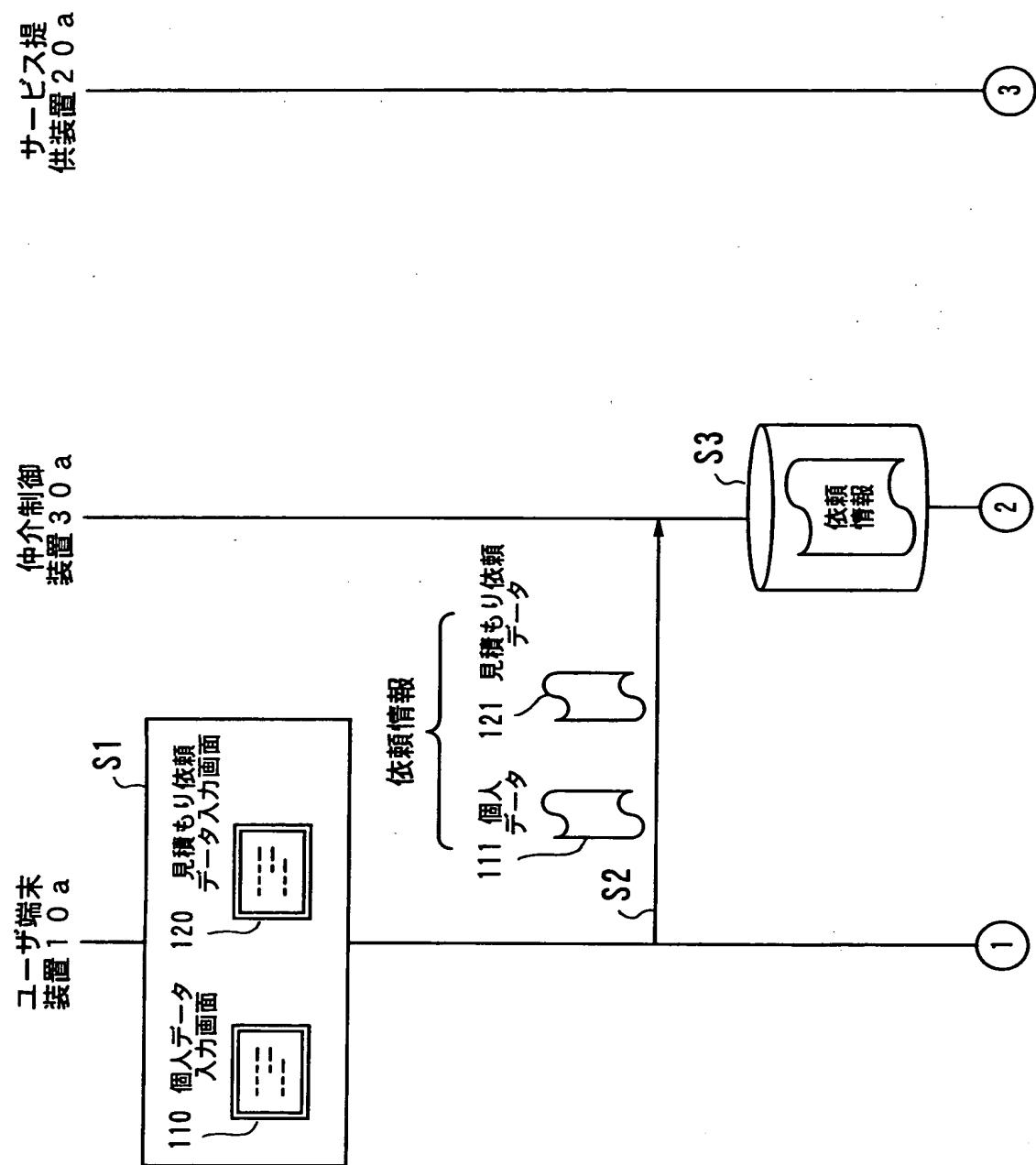
134～詳細表示

【図8】

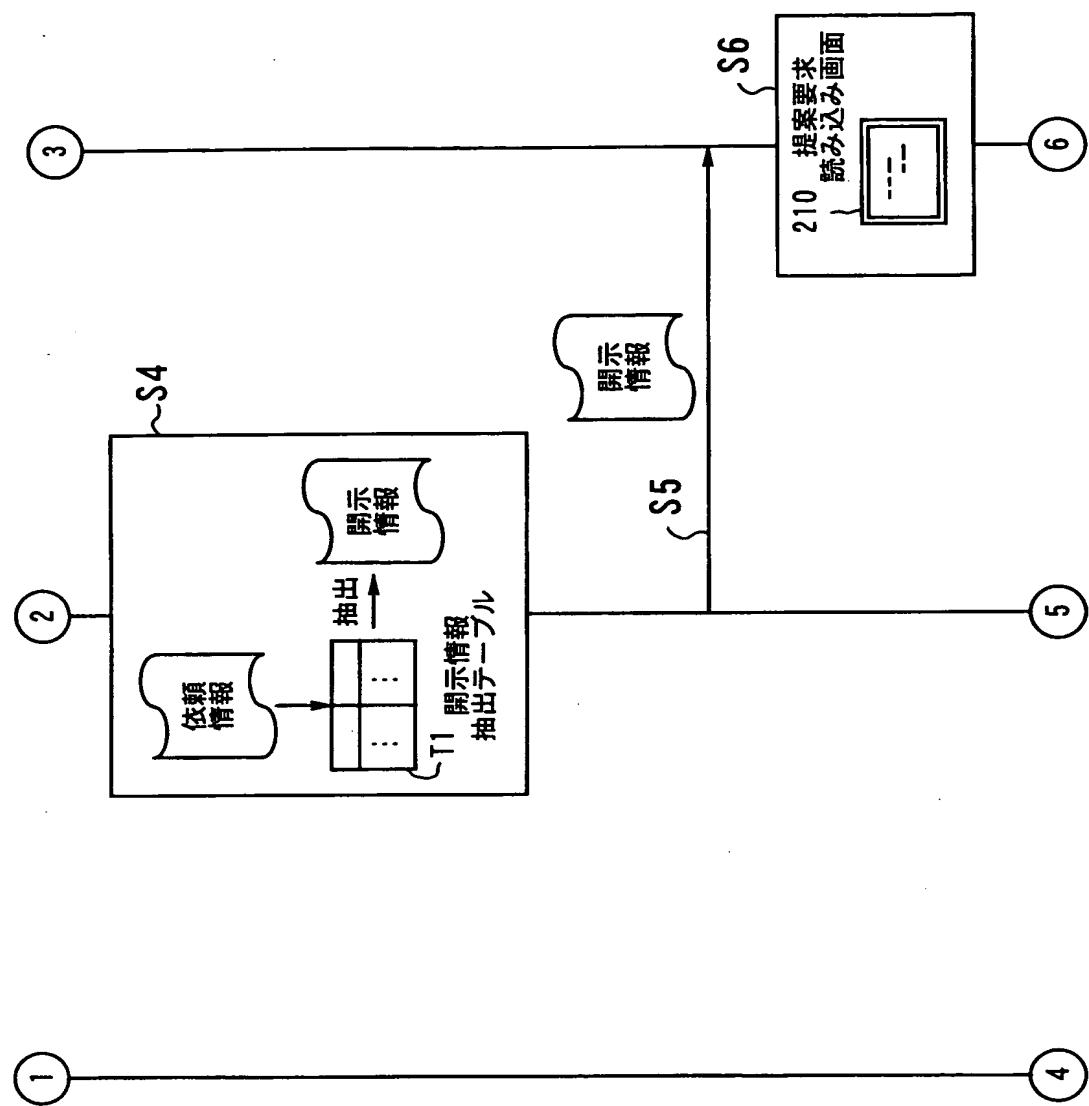
140 保険商品案内画面

141 紹介先 1D000003	142 紹介登録番号 00000002	143 タイトル ご案内です。
144 紹介内容		
<p>お世話になつております。 ご依頼内容を拝見いたしました。 弊社の商品で、是非ともご提案申し上げたい商品プランがござります。 つきましては、添付ファイルとして商品ご紹介資料を送付いたします。 ご検討よろしくお願ひします。</p>		
<p>新日本保険株式会社：営業部 大井 TEL:03-XXX-0001 email:oi@nihonhoken.co.jp</p>		
145 添付ファイル ご紹介資料		
146 ~  紹介登録		

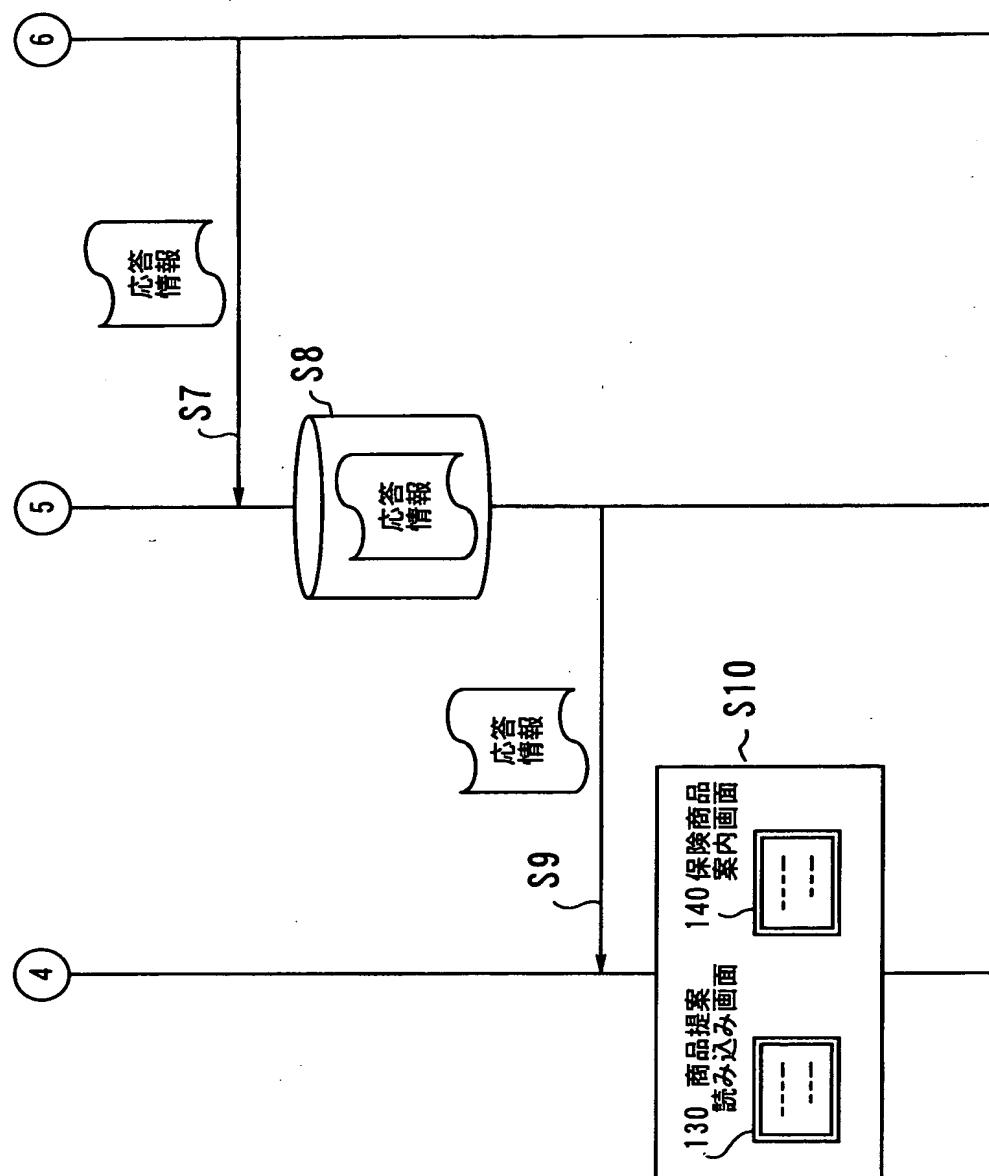
【図9】



【図10】



【図11】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 情報の保護を行って信頼性を確保して、仲介制御を行う。

【解決手段】 抽出手段（開示情報抽出手段33）は、ユーザから送信された依頼情報の種類にもとづいて、ユーザの個人情報の開示する範囲を決定し、抽出する。処理手段（開示情報抽出手段34）は、抽出した個人情報を依頼内容と共に、サービス提供者に利用可能とする。

【選択図】 図1

出願人履歴情報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日 1996年 3月26日

[変更理由] 住所変更

住 所 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号

氏 名 富士通株式会社